

会 議 録

- 1 附属機関の会議の名称
水戸市立博物館協議会
- 2 開催日時
平成27年7月27日（月） 午後1時30分から午後3時30分まで
- 3 開催場所
水戸市立博物館3階視聴覚室
- 4 出席した者の氏名
 - (1) 委員
岡田 貴子, 河原 将子, 笹目 礼子, 鈴木 暎一, 大和田 栄, 小菅 次男
藤田 雅一, 藤本 陽子, 小坪 のり子, 桐原 孝一, 塚原 正彦
高倉 富士男, 藤 和博
 - (2) 執行機関
白石 嘉亮, 玉川 里子, 坂本 京子, 中村 有紀子, 藤井 達也, 後藤 俊則
 - (3) その他
- 5 議題及び公開・非公開の別
 - ・企画展「あこがれの空へー民間パイロットの先駆け・武石浩玻ー」の結果報告について（公開）
 - ・企画展 夏休み子どもミュージアム「チョウチョ大集合！」の開催について（公開）
 - ・企画展「戦後70年ー戦争の記憶を未来へ」の開催について（公開）
 - ・特別展「知られざる女流画家 櫻井雪保ー父・雪館と歩んだ絵画の道ー」の開催について（公開）
 - ・特別展「子どもは風の子 昭和の子」の開催について（公開）
- 6 非公開の理由
- 7 傍聴人の数（公開した場合に限る。） 0人
- 8 会議資料の名称
平成27年度第1回水戸市立博物館協議会
- 9 発言の内容
別紙のとおり

(議事)

委員長

報告事項が三つあります。

企画展「あこがれの空へー民間パイロットの先駆け・武石浩玻一」の報告からお願いします。

執行機関

<会議資料P 1～4, 企画展「あこがれの空へー民間パイロットの先駆け・武石浩玻一」について報告>

委員長

ただ今、報告がありましたけれど、皆さんの御感想を含めて御意見を出していただきたいと思います。

委員長

テレビ・ラジオで知ったという方は1人しかいませんけれど、テレビやラジオでは流していなかったのですか。

執行機関

NHKのFMで何度か流していただきました。それから、茨城放送には直接出向いて生で放送してきました。

____委員

テレビの方で、NHKのお知らせ隊は行きましたか。

執行機関

NHKのお知らせ隊には行きました。

委員長

いかに、テレビの頻度を上げるかで、観客や集客力を高められると思いますね。他に、ございませんか。

____委員

先ほど、耐震工事の話の中がありました。換気や駐車場のことは入っていないのですか。

執行機関

衛生関係の配管を直す予定です。排気や空調関係も今の予定では工事をする事になっています。駐車場は工事の中には入っておりません。

____委員

図書館でも同様に駐車場が少ないという意見が出るのですが、拡張などはないのですね。

委員長

先ほどの話では、今年、耐震のための工事の設計、来年度工事に入るとのことですね。1年か2年の間、博物館は閉鎖せざるを得ないので、その間どのように運営していくのかといった問題も出てくる。外で何かを行う可能性もあると思いますが、その辺の計画などは、次の協議会でお話ししていただけるものと考えています。

____委員

報告事項5の入場者数で、障害者のカウントがありますが、車いすの方たちの入場については、どのような受入れ対応をされているのでしょうか。

執行機関

地下の駐車場へのスロープの途中から入館できる入口があり、そこから入っていただいています。図書館のエレベーターで二階まで上がって展示室へ入り、あとは博物館のエレベーターで、各展示室を観覧していただいています。

委員長

そのようなことも、市長を始め、市当局の皆さんによくお話をし、障害を持った方に対する思いやりを具体化することも考えてくださいと伝えるべきだと思いますね。

委員長

浩玻展は委員の我々は見せていただきましたけれど、とても苦心された展覧会だったと思います。水戸一高の生徒は、武石浩玻については教わらなくても知ることができる状況にあります。その他の方はなかなか名前を聞く機会はないと思うので、そのような先駆者がいたということもPRできたのは良かったと思います。

他になれば、次にチョウチョ大集合について説明をお願いします。

執行機関

<会議資料P5～P7, 企画展 夏休み子どもミュージアム「チョウチョ大集合！」について説明>

委員長

会議が終わりましたら、会場を御案内くださるそうです。この展覧会について何かありますか。

____委員

ただチョウを箱に入れて展示しているのではなく、生態的なことを含めて工夫されてい

るなど感じました。野外で観察会なども行っているようですが、昨日実施した逆川を含め観察会の場所が残念ながら公園になってしまっているのです。虫捕りなどは除草剤の影響であまり期待できない。それと暑さのせいで種類なども期待できないといった状況ですから、今後はフィールドも工夫されるとよいと思います。

ついでにお話ししますと、私の先輩にチョウマニアの方がおまして、相当数の標本箱をお持ちでした。県のミュージアムパークにお願いすることになりましたが、一部は私の手元に残っており、その中には水戸市で採集されたものもあるので、そちらは市の博物館にも展示したいと思います。

委員長

ありがとうございました。他にどなたかありますか、なければ先に進みます。それでは企画展戦後70年の説明をお願いします。

執行機関

<会議資料P8～P9，企画展 「戦後70年—戦争の記憶を未来へ」について説明>

委員長

このバスツアーの申込みなどのPRはどのような方法で行ったのですか。

執行機関

水戸市報や小中学校の生徒へのチラシ配布などです。

委員長

他に説明があったことについて御意見なり御注文はありますか。

_____委員

GHQに関する文書を読ませてもらう機会があり、大学の関係者の中に、日本語ができることから、戦後GHQの通訳として広島に行かれた方がいたのを知りました。その人たちの日本に対する強く、そして複雑な思いに心を打たれました。戦争の時代の中でも、一般の人々は、人と人としての繋がりで生きてきたのだと感じさせられましたし、戦争は、人を変えてしまうものなのかなとも感じました。ですから、やっぱり戦争は良くない。今いろいろな所で起きていますけれど、それは前から言っていますが、人の心を慮るといったことがない世代になってきてしまったからなのかなと思います。ですから、「戦争の記憶を未来へ」といった展示は非常に貴重な企画ではないかなと思いました。

_____委員

学校で歴史を習いますが、今いろいろな問題になっている歴史認識については、日本人は意外と意識が薄いといった批判があって、それじゃ歴史認識はどこで作られるのかと考えると学校の授業ではないんですよね。戦争についていえば、多くが体験している人から繋

がってできていくものかなと思うのです。生の歴史があつて、そこから我々がどのように情報を受けていくかだと思うのです。

もう一つは、第一世代が少なくなっている。実は沖縄に行っても現在は二代目の語り部になっている。我々も父母からいろいろ聞いていますが、それを子や孫に語れるかという、どうも語りにくい。でも語らないと伝わらない思いはあります。そのような時に、こうした展示は良いのかなという気がします。

委員長

博物館で毎年、戦争を語り継いだり、戦争を風化させないため一生懸命やるということは大変良いことだと思ふのです。毎年毎年それをやり続けるということはとても大事なことだと思ふます。

____委員

今回、学校から回ってきたチラシを拝見させていただいたのですけれども、保護者の視点から申し上げますと、夏休み前に学校からもらってくるチラシの量はすごく多い。その中で、訴えかける部分が少し弱かったように思ふます。例えば学校に一つポスターを作って掲示してもらつと目に触れる機会があるので、もう少し違う形のアピールとなつたかなと思ふました。

____委員

直接体験をした者とそうでない者では確かに見方が違ふ。使われている写真に、当時と現在を対比させる工夫などをすると、もっと身近に感じられると思ふます。

____委員

現在、二聯隊の後は茨城大学になっています。二聯隊には水戸市近辺の出身の方も多く、ペリリュー島にも行つている。そのようなことも大学生や若い人たちに伝えていく必要があるのではないのでしょうか。ですから、このような企画展は公の所が工夫をしながら長く続けていくことに意味があると思ふます。

____委員

耐震工事の期間中は、博物館での開催はできないと思ふますが、別な場所で開催していただけたら良いなと感じました。

委員長

例えば、京成デパートなどで開催することも考えても良いのではないのでしょうか。他に何かございませんか。

____委員

語り部の方のお話などは、音声や映像で記録されているのでしょうか。

執行機関

映像で保存しています。

____委員

直接体験された方の迫真の話というのは、とても貴重ですので是非蓄積していった、後にこのような展示に役立てると良いと思います。

委員長

報告事項について質問や御意見がなければ協議事項に移ります。最初に「知られざる女流画家」から説明をお願いします。

執行機関

<会議資料P10, 特別展「知られざる女流画家 櫻井雪保一父・雪館と歩んだ絵画の道」について説明>

委員長

今度の特別展の女流画家について、あまり知られていないようですが、歴史館などでは取り上げたことはないのですか。

____委員

地元の江戸時代の画家の作品について、数十年来、コレクションを積み重ねてきたのは、県立歴史館よりも水戸市の博物館の方だと思います。立原杏所であるとか林十江であるとか萩谷遷喬もそうです。櫻井雪館という人は、磯浜の生まれだといわれていて、四十歳くらいまで水戸にいて、以後江戸に出て画塾を開き盛況を極めたといわれています。確かに水戸に生まれて画業を成した人たちと比較すると知名度は低いかもしれませんが、また、当時、女性が絵を描くということはそうそうあるわけではありません。

今回、女流画家櫻井雪保の、その源流が父・雪館にあることを含めての展覧会を地元で開催することには大きな意味があると思います。水戸市の博物館が近世絵画にも非常に力を入れて、作品を収集していることを皆さんに知っていただく良い機会なのではないかと思います。ただ資料が少ないので、苦労されるかもしれませんが、そこで頑張った成果を皆さんに見ていただけたらと思います。

委員長

五百城文哉のように博物館が力を入れたので知られるようになった作家もいます。知られざる女流画家関連の人たちも、特別展を機に知名度があがると良いですね。博物館では雪館の作品ばかりでなく雪保の作品もあるのですか。

執行機関

雪保の作品は7点ほどございます。

委員長

今回の特別展では、他の博物館や美術館から借りてきての展示も考えているのですか。

執行機関

はい、他の場所からも借用してきて展示する予定でいます。

委員長

全体としてどのくらいの作品を展示する予定ですか。

執行機関

雪保が16点、雪館を含めて全体で29点ほど展示する予定でいます。

委員長

図録も作るのですか。

執行機関

図録も作成する予定です。

委員長

図録を作って残すことは良いことだと思います。他に何かございますか。なければ特別展の「子どもは風の子」の説明をお願いします。

執行機関

<会議資料P11～P13, 特別展 「子どもは風の子 昭和の子」について説明>

委員長

ただ今、説明がありました特別展のことについて何か御質問、御指摘はございますか。

_____委員

この特別展のチラシは作られますよね。チラシは小・中・高校などの生徒さんに配られるのですか。

執行機関

小・中学校や幼稚園、保育園にも配ろうと考えています。

_____委員

前から話しているところでもあるのですが、むしろこの施設は、空調をきちんと整備して、収蔵や研究のみに特化すべきだと考えます。普及活動や教育活動は、小さいキットを作成し、学校の授業や夏休みに展示をしたり、映像を流したり、またはデジタル化して配

信することも考えられる。また、デジタル化しただけでは効果はないので、語りなどのナレーションを入れて持ち運びする、といったような所に企画展の予算をシフトさせていくことが、学校とか市民向けに一つあるでしょう。

もう一つは、先ほど企画展を外に出すという話があったように、人が集まる所、例えば京成百貨店などで開催する。百貨店も、夏休みに親子を集めたいと思うわけですから。このような、発想の転換をする機会を持たれてもよいのではないかと思います。

委員長

発想の転換をしたらどうでしょうかとのお話ですが、例えばどのようにしたらよいでしょうか。一つ二つ例を挙げていただけますか。

_____委員

例えば、このチョウチョの大集合などは、標本が中心なのですが、これを写真に撮ってパネルにして毎年学校にお届けして説明するとか、昭和の話もパネルを写真に撮って小さい形で出力する。展示できるような一つのパッケージにしてしまい、標本などを貸出しするようなこともよいのではないかと思います。

_____委員

すごく反対という意見ではないのですが、世の中が変わってきた原因の大元は、実際に体験をする機会が減ってきたことがあげられるのではないかと思います。自然の中に行くことも少なくなってきて、きちんとした形での喧嘩なども体験することもなくなっている。そのような体験が不足しているが故に簡単に人を傷つけたり、言葉でいじめたり、とことんやっつけたりするような世の中になってしまっている。おっしゃっていることは分かります。確かにお金がかからない一つの方策かもしれません。しかし、博物館ならでは、体験を重視した展覧会をお金がない中で実施していただけたらと思います。

_____委員

付け加えますが、ただパネルや標本を学校に持って行って展示するのではなく、学芸員の方が出向いて行って説明すると効果があると思います。

_____委員

通信制の生徒を教えています。この子たちの連絡や情報のツールはスマホなんです。ですから、スマートフォンなどで情報を発信する仕組みや、学校に出向いて講座を開くなどの人材や経費を予算化することも必要だと思います。

_____委員

例えば、おもしろ理科先生の制度を、水戸市あるいは博物館バージョンで立ち上げて学校などに出向いて講座を行うことも可能だと思います。

委員長

耐震工事で博物館が使えなくなるので、これを機に将来に繋げる博物館のPRを考えるなり、いろいろなことをやってみる期間と捉えてみてはどうかと思います。

_____委員

パッケージ化という話が出たのですが、実は県立図書館などでも実施しています。同様の事例は数多くあり、学校でも飽和状態です。

実は昭和のものについては、小学校の三年生の社会科の授業の時に、昔の生活のことを扱うので、そのような所を掘り起こしてPRをしたら、何か繋がりができると思います。

委員長

歴史館ではちょっと昔の暮らしというものを開催され、小さな子供たちがお父さんやお母さんに連れられてきていました。学校の宿題だと思うのですが、それを兼ねてきたのでしょうか。

_____委員

集客について、ネットの利用に関してですが、昨今、ツイッター、ライン、フェイスブックというように、ネットの世界も一つのツールだけではなかなか発信が難しい状況にあります。それぞれのツールはほとんど無料で利用できるのですが、ツイッターしか見えない人、フェイスブックしか見えない人、ラインばかりの人、様々です。スマートフォンは、バスを待っている間など、ちょっとした待ち時間にも見ている人が多くいます。このようなところで催しの様子などの写真を載せるなど、インターネットの活用を積極的にやっていくとよいと思います。あまり利用のない高校生、大学生の世代についてはスマートフォンを使った配信などもすごく有効な手段だと思います。

委員長

確かに若い人たちなどには、文明の利器であるスマートフォンなどを使って配信することも宣伝効果はあると思います。

_____委員

来館者数にこだわるようになったのは、ここ十年くらいだと思います。それまで質の良い展示ができればよいとされていたのが、人数だけが先走って、意味のない議論がされるようになった気がしています。水戸市立博物館の展覧会では、入館者数は毎回このくらいですよね。だから、この館で集められる人数はこれでいいのだと思います。キットを作って出前をするということも、水戸市には小学校が30数校あって、計画的に回るとしても大変な労力です。教育委員会や学校が組織的に日程とか内容をしっかり把握してやらないと駄目ですね。

雪保と雪館も五百城文哉と同じように地元の画家として人気が出てくれると良いですね。

委員長

行政の手法としては人数＝評価になってしまう。それでも博物館は、質の良いものを見せる、価値のあるものを展示するという事に信念を持っていただきたいと思います。

_____委員

私個人としては、社会教育施設のような所での成果主義の評価は感心しません。行政の手法として何かがないと判断できないので、その中に入館者数が判断材料として入ってしまうのでしょうか。

_____委員

入館者が少ないと責められたある美術館が、無料スペースを含めた自動入館者数カウンターを取り付けたところ、行ったり来たりする人全てをカウントしてしまう。それでも入館者数として扱われ費用対効果があると評価され、堅実な方法で入館者を数えていた所は低く評価されてしまうことがあるようです。

休館中は工事に関わることで忙しくなると思いますが、対外的な活動なども堅実に実施し、リニューアルオープンに向けての方策、方針をしっかりと策定し、収蔵スペースや内部充実を含めて早い段階での開館に務めてもらいたい。

委員長

市長も、大型プロジェクトが終了する5～6年後に、博物館を考えるということでした。

_____委員

いろいろな御意見から、博物館はどのような存在であるべきなのかなと考えました。博物館に来て本物に触れるという感動が、やはり大事なのではないかと思います。市立博物館は、特別展や企画展でも、体験するコーナーや企画を設け、来館された方々を大切にしています。小さい博物館ながらもいろいろ研究や調査もされていて努力されていると思います。

_____委員

私も、市立博物館のホームページを見せていただいて、特別展や企画展ばかりではなく、その一環でイベントや出前講座など、少ない人数で努力して開催しているなど感心しました。

_____委員

博物館のホームページがありますが、そのセキュリティーはどのようにしていますか。

執行機関

水戸市のホームページにつきましては、情報政策課が一括して業者に委託して、セキュリティーの管理をしています。

_____委員

博物館のホームページも簡単にスマホに変換できるのですか。

執行機関

スマホ用に変換することは別な内容ですので、スマホ用のホームページを作らなくてはなりません。

委員長

ホームページの件については、御理解いただけただけでしょうか。その他の件で他になければ、以上で協議会を閉じさせていただきます。本日は、ありがとうございました。

冒頭、本日の協議会の議事録署名人を、_____委員と_____委員にお願いしましたが、よろしく願いいたします。